

港湾における荷役クレーンの更新により、**安定した港湾サービスを提供**

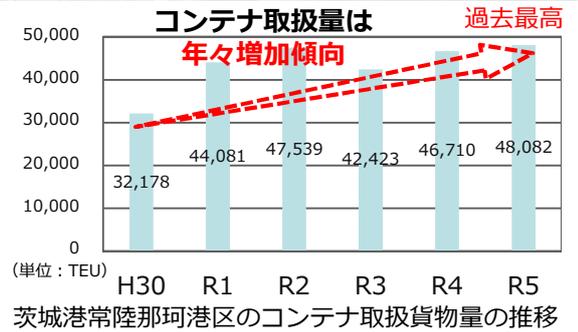
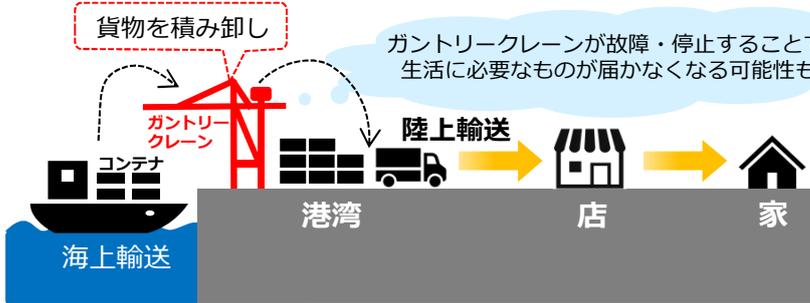
－ 茨城港常陸那珂港区において25年ぶりにガントリークレーンを更新 －

目的

- ◆ 茨城港常陸那珂港区のコンテナ取扱貨物量は年々増加傾向で、令和5年には過去最高を記録
- ◆ 一方、北ふ頭地区のガントリークレーン2基は、平成11年に設置されてから**20年以上が経過**し、**老朽化**に起因する故障や腐食・劣化が発生

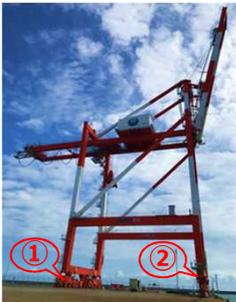


ガントリークレーンの更新を行うことで、**港湾サービスを安定化**することが必要！



ガントリークレーンの更新

【更新前】 老朽化が著しいガントリークレーン (設置後20年以上経過)



① 走行機
安全のため、低速移動で運用せざるを得ない状況



② 足回り
部品が特注で、修理が長期化している

課題

- ◆ 故障が頻発すると、荷役が遅延し、定時制の確保が困難
- ◆ 貨物量の増加 (追加受入れ)、航路の増便の足枷となっている
- ◆ 老朽化が進むと、修理等の維持管理費が増加

【更新後】 新しいガントリークレーンを設置



2号機
R7.1.11 稼働開始

1号機
R6.10.28 稼働開始

新ガントリークレーンの概要

工事期間	令和4年度～令和6年度
全体工事費	約30億円 (1号機・2号機合計)
荷役能力	コンテナ 約40t/個
取扱船舶	コンテナ貨物船 (最大14列積まで対応)
構造規模	高さ: 33m (荷役作業時) 幅: 30m (レール幅) 最大リーチ: 41m (海側)

まとめ

設置後20年以上経過し、老朽化したガントリークレーンを更新して、**安定した港湾サービスを提供!**

港湾サービスが安定することで・・・
物流の効率化にも大きく寄与!!